

[巻頭言] 情報学部論集の刊行にあたって

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: ja 出版者: 公開日: 2024-05-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 伊藤, 則之 メールアドレス: 所属: |
| URL | https://tohoku-gakuin.repo.nii.ac.jp/records/2000255 |

情報学部論集の刊行にあたって

情報学部長 伊藤則之

東北学院大学では、大きく変化する時代の要請や課題に応えるために、2023年4月より専門教育として新たに4学部5学科を開設することとなりました。

その新設学部の一つでもある情報学部では、情報科学、数理科学、社会科学を包括する学びを通じて、人間の社会活動によって生み出される情報を理解する能力を育み、情報活用に基づいた社会の課題解決や社会的価値の創出に貢献する人材を育成することを理念・目的として、情報を扱うための基礎知識と「問題発見力・問題解決力・コミュニケーション力」を身に付け、多角的な視点を養えるよう情報科学、数理科学、社会科学の幅広い領域からの学びが得られることを特徴としております。

現代社会は情報に満ち溢れています。解決すべき問題も多種多様です。私たちの生活をより豊かにするためには、膨大なデータから必要な情報を見つけ出し活用する力が不可欠で、この力は文理の区別なく求められています。

本論集は、この情報学部における教員及び関係者の研究・教育・実践の成果を公刊し、それを通じて数理科学、情報科学、社会科学の各領域の教員同士の情報交換と相互理解を促進するとともに、本学科の取り組みを関連学会や地域社会などに広く公開することで「情報」や「データサイエンス」に関わる研究・教育・実践活動の発展に資することを目的として刊行されました。また、情報学部の学生にも教員の研究活動に興味を持ってもらうという役割もあります。

創刊号では、2件の研究論文、1件の調査報告、1件の実践報告に加え、2024年1月20日に開催の第1回情報学シンポジウムの実施報告が揃いました。

是非とも、多くの方にご一読をいただければ幸甚です。